

犬の命 哀れ...

飼い主に見捨てられ

ガス室で処分

動物愛護週間
—20日から—

十八日早朝、十四匹の鳴き声が消えた。人間に捨てられた犬たちが、炭酸ガス室で「処分」されたのだ。今年七月に支局で預かった迷犬「甲太郎」は、新しい飼い主の下で幸せな生活を送っている。しかし、飼い主から見捨てられた犬たちは……。人間が犬たちに与えている過酷な仕打ちを知って欲しい。そして一匹でも多くを救う手だてに取り組んでほしい。そう願って彼らの「最期」を伝えたい。二十日からは、動物愛護週間――。

(香)

香

尼崎市東難波町の市動物の犬舎をのぞくと、一匹のに顔を近づけた。人間に飼
管理事務所。広さ九平方メートル。白い犬が尾を振って、オリわれていた犬らしい。生ま

スリーピングボックスに移される
のを待つ犬たち＝18日午前7時半

れながらの野犬は、チラッ
とこちらを見ただけでまた
顔を背けてうずくまった。
作業は午前七時半から。
十四を、犬舎から幅一呎、
長さ五呎の通路を通じて、
スリーピングボックス(縦

一・一・一、横一、高さ一。
一・一・一に追い込む。金属製のボックスには、窓が二つ。十匹が入ったのを確認して、職員がボックス内の空気を炭酸ガスに入れ替えるボタンを押した。

炭酸ガス式を採用する七
七年以前は、金属板の上に

犬を並べ、電気ショックで飼育場所がない②飼い主の処分していた。引越③鳴き声がうるさ

空気の入れ替えは、約四分。炭酸ガスでまず意識を失い、その後窒息死する。うものも多い。

苦痛は少ないという。入れ替え完了を知らせるブザーが鳴った。追い込まれた時、窓から外を不安そうに見て、義務付けられている。引

犬たちは市内の動物専用
の焼却炉で焼かれ、骨の一
部が尼崎市弥生ヶ丘町の弥
生ヶ丘墓園内の動物墓地に
ほとんどない。

き取り犬はその場で処分が
認められている。どちらも

「引き取りに行くと、病
氣なのに治療もせずほった
らかしの場合もある。壊れ
たおもちゃじゃない。同じ
人間としてなさげなくな
る」。事務所の千田泰主任
がつぶやく。

捕獲犬は、野犬と捨て犬。

引き取り犬は、飼い主が事い。子犬がいらないなら、務所に申し出る。理由は①不妊手術をする。他人の迷

外を見つ
7時40分
惑にならぬよう、きちんと
しつけをする。こうした最
低のマナーさえ守れば、犠
牲になる犬は減らせる。

直前、窓から
—18日午前
何万、何十万もの「大量
処分」を放置した現状に
は、命の貴さを忘れた人間
の貧しさが出てみえて

飼育場所がない②飼主の引越越し③鳴き声がうるさい——の順。「病気になったので連れて行って」といいうものも多い。

捕獲犬は引き取り手が現れる可能性があるため、狂犬病予防法で三日間の飼育が義務付けられている。引き取り犬はその場で処分が認められている。どちらも一週間ほど事務所で飼っているが、引き取られる犬はほとんどない。

「引き取りに行くと、病
気なのに治療もせずほった
らかしの場合もある。壊れ
たおもちゃじゃない。同じ
人間としてなさげなくな
る」。事務所の千田泰主任
がつきやう。

飼えない犬は、もらわな

い。子犬がいらないなら、不妊手術をする。他人の迷

惑にならぬよう、きちんとしつけをする。こうした最低のマナーさえ守れば、犠牲になる犬は減らせる。

何万、何十万もの「大量処分」を放置した現状には、命の貴さを忘れた人間の貧しさが透けてみえて

ガス注入の直前、窓から外を見つめる
—18日午前7時40分

くる。連れて来られたばかりの犬たちの、悲しそうな遠ばえが、耐えられなかった。

で、北
芦屋
設に
エル

音シテ
いきだ
松本
つぶ(

に建設
術庁に
は地下
省を雨

の公書
北村春

北村 芦屋 会議

市 長 市 長

ついで
たが、
かった

例の事
午前
開く予
は「公

当局の
遅いと
への出
一目も

十八日 敏治幹